

森づくり最前線

塩那森林管理署 伊王野森林事務所 森林官 浅子 竜一



道の駅の水車

私が勤務している伊王野森林事務所は、栃木県北東部の那須町にあり、那須町と大田原市の国有林を管理しています。管理する国有林は、栃木・福島・茨城の三県にまたがる八溝山地に位置します。

「伊王野」は、伊王野氏の城下町として栄えたところで、霞ヶ城の城跡公園に咲く藪椿や葦沢の彼岸花群生は訪れる人々を楽しませてくれます。国の重要文化財の金銅阿弥陀如来立像を安置する専称寺をはじめ、多くの寺社仏閣や民話に生きる北向き地蔵などもあり、三蔵川の清流に沿った山里には二ホンカワウソがひっそりと息づいているとの噂もあります。



磯上のヤマザクラ

で、水車につながる石臼で挽いた、おいしいそばをいただくことができます。道の駅の中のまつり伝承館には、11月2・3日に行われる伊王野秋祭りで見られる屋台が展示されています。

大田原市両郷(磯上)には推定樹齢300年以上、幹周囲4.3メートル、高さ17メートルのヤマザクラの巨樹があります。毎年開花の時期にはライトアップされ、多くの人が訪れます。昨年、管内北部にある旧東山道の追分明神に隣接する国有林にヤマザクラを植栽しました。見頃を迎える15年後には是非訪れてみてください。



生産事業実行箇所
(造材作業38林班)

上がスギ・ヒノキの人工林で、主伐期を順次迎えています。一年を通じて伐採と植林を循環的に行い、木材の安定供給に取り組んでいます。資源の循環利用を進めていく上で、作業の効率化、省力化が不可欠なことから、福島県境の山神国有林では、伐採から、地拵、植付までを高性能林業機械を使って連続して行う「一貫作業システム」に取り組んでいます。

当地域は、民有林も多く、県道、市町道、林道がよく整備されていて、林内へのアクセスが良い一方で、沢や道下にはゴミが捨てられている箇所が多く、片付けが大変です。また、近年は、林内で共に仕事をする人手の確保が困難となっていて頭を抱えています。このため、事業予定地の



造林箇所

事前調査や境界の見まわりなどの業務は、近隣の森林事務所と連携して行っています。経験で培った技術や知識のある先輩方と現場に行く機会を生かして、自分自身のスキルアップに役立てています。

当森林事務所に来て、1年が過ぎました。先日は、隣接する茨城県大子町で木質バイオマス発電所が稼働を開始するなど、地域の木材需要に大きな変化が見られます。管内の状況を的確に把握しながら、地域のニーズに応えられる森づくり、木材供給に取り組みでいきたいと考えています。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393